

医療現場: 看護部

テーマ: 足が延ばせるエレベーティング機能付き車椅子

■ 背景

「脚部エレベーティング機能付き車椅子」とは脚部を上げられる機能を備えており、脚を乗せる エレベーティングレッグレストの角度調整が可能で、水平に近い位置まで脚を伸ばすことが出来る車椅子である。主に以下のような疾患や怪我の方が使用の対象になる。

【整形外科領域】

- ・下肢骨折(大腿骨、脛骨など)術後の安静保持
- ・膝関節置換術後(人工関節手術後の伸展保持)
- ・足関節捻挫や靭帯損傷での腫脹軽減
- ・下肢切断後の残端保護

【循環器・血管領域】

- ・深部静脈血栓症治療での下肢挙上
- ・下肢静脈瘤や慢性静脈不全による浮腫軽減
- ・心不全に伴う下肢浮腫の管理

【神経・リハビリ領域】

- ・脳卒中後の麻痺で下肢を伸展位に保持する
- ・脊髄損傷後の下肢管理（褥瘡予防など）

■ 課題

脚部を載せて確度が調整出来る車椅子は複数社から市販されているが、

- ①レッグレスト部分が狭く、乗せた脚部が不安定
- ②患者さん毎に至適なレッグレスト長を調整する機能がない
- ③患者さんの体格に調整出来ない
- ④重量がかさむため介助する看護師の負担が大きい



■ 課題を解決するアイデア事例

例えば、下記の機能を持つことが望ましい(右図参照)。

- ①レッグレスト長が簡単に調整できる機能
- ②脚部がずれることなく安定に置けるレッグレスト構造
あるいははずれない素材
- ③軽量であること
- ④繰り返し使用可能な耐久性



このような車椅子の実用化に協働して下さる企業・団体様を求めています。なお、車椅子の開発にはJIS規格を満足する必要があります。

■ 看護部のホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>